

陸路が遮断されたことを想定した防災訓練

～港湾業務艇を活用した合同防災訓練～

南海トラフ巨大地震が発生したことを想定し、初動対応、被害報告等の防災訓練を行いました。あわせて「道路インフラが脆弱な伊豆半島下田方面への陸路が遮断された」との想定で、清水港湾事務所の港湾業務艇を活用した合同防災訓練を行いました。静岡営繕事務所では下田港事務所及び下田運輸総合庁舎にて被災後の建物調査（応急危険度判定、設備点検等）の実地訓練及び情報提供を行いました。現地の方も危機管理意識が高く、訓練は好評でした。

◆訓練を通しての意見・改善案

- ・事務所内の書庫・戸棚等の固定を行う。
- ・静岡県内の施設リストをA1で印刷し準備しておく。
- ・支部長への報告、報告メール送信時の電話を徹底する。
- ・相手庁へ災害時の被災情報伝達を呼びかける。

訓練スケジュール

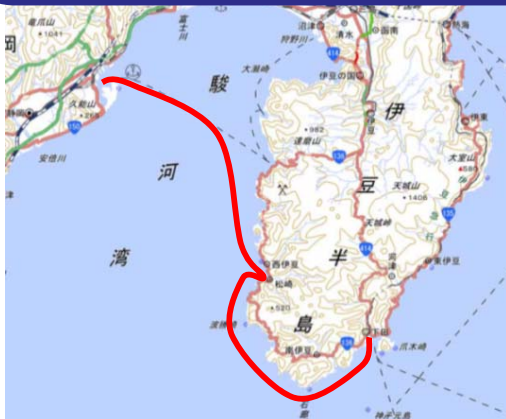
【初動訓練】	9:00	地震発生（最大震度 震度6弱）
(6/8)	9:25	施設抽出・被害報告（震度5強以上地域）
	9:40	BCPに基づく営繕部への支援要請
	10:00	港湾事務所との乗船許可手続き
【合同訓練】	9:15	清水港出港
(6/13)	12:00	下田港入港（途中松崎港で船乗り換え） 下田港事務所、下田運輸総合庁舎の被災状況現地調査



災害対策支部立ち上げ訓練



防災カルテ等の情報提供



訓練ルート(清水～松崎～下田)



港湾業務艇



応急危険度判定の実地訓練



設備機器類点検の実地指導